

# 移住者の 移住前後の働き方と 地域との関わり方

2024. 07.09 火





## 目次

- 01 地方移住のハードル | 移住後のお仕事事情
- 02 地域おこし協力隊とは
- 03 地域おこし協力隊を活用した移住のメリット・デメリット
- 04 移住者の地域との関わり方の変化
- Fin まとめ



# SELF INTRODUCTION

小林 力（こばやしりき）

東京都東村山市より移住

洲本市在住4年目



# SELF INTRODUCTION



#洲本市地域おこし協力隊を経験

#農村地域着任型 #ミッション型 #委託型の雇用形態

人口減少が進むの農村集落で空き家活用・地域振興を担う

小林と申します!!

1991

新潟県新潟市に生まれる  
部活動漬けの学生時代  
大学卒業後は都内のIT企業で  
システムエンジニアに

2019

娘の誕生をきっかけに  
暮らしを見直す  
都内で移住セミナーに  
参加しながら情報収集

2021

IT企業を退職後  
地域おこし協力隊として移住  
古民家の活用や過疎集落の  
既存産業の支援を行う

2024

地域おこし協力隊をしながら  
ライターや法人向け資料制作代行  
など、個人事業主として活動中

## こんな内容で進めます

- 地方移住の手段の1つである  
「地域おこし協力隊」**実際どうなの？**
- 地域おこし協力隊を活用した移住の  
**有用性や効果**はどうなの？
- 地域おこし協力隊として移住した後の  
**仕事や暮らし方**はどうなの？



# 地方移住のハードル 移住後のお仕事事情

# 01



# 01

## 地方移住のハードル | 移住後のお仕事事情

地方に移住してみたいと思っても  
容易く生活拠点を換えられない要因の1つが

**「移住後のお仕事」≒生計を立てる術。**

### ChatGPT

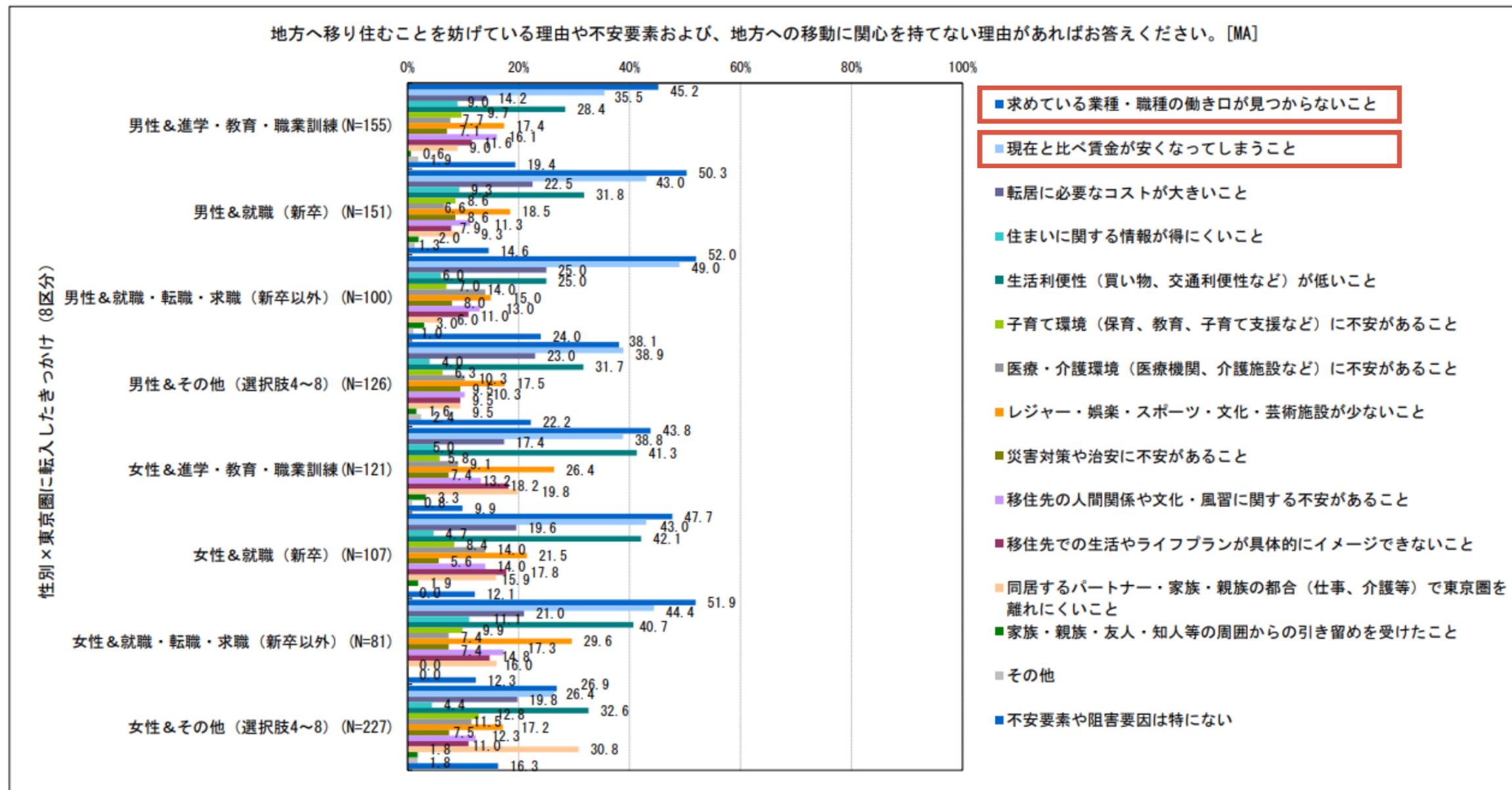
日本における地方移住が進まない最大の要因の一つは、就職・キャリア機会の不足です。多くの企業や業界が東京や大阪などの大都市圏に集中しているため、地方では特に若年層や中堅層の労働市場が狭いという問題があります。この集中は、高度な専門職やキャリアアップの機会も大都市圏に偏らせています。

地方での就職機会が限られていることは、特に新卒者やキャリアを積みたいと考えている若者にとって大きな障壁となっています。多くの場合、地方の企業や産業は小規模であり、給与や昇進の機会も限定的であることが多いです。また、地方における産業の多様性が乏しく、特定の分野での経験やスキルを持つ人材にとって魅力的なポジションが少ないのも、移住を躊躇させる一因です。



# 01

## 地方移住のハードル | 移住後のお仕事事情



※全体標本（合計）は、東京圏転入者の平均を集計（生まれよりの東京圏在住者は除外）

# 01

## 地方移住のハードル | 移住後のお仕事事情

地方に仕事がないわけではない。

- ・ 仕事を創る（起業）
- ・ 仕事をリモートでする（体は地方、仕事は都市）
- ・ バランスを変える（複数の生業を持つ）



生計を立てる術はあるが、  
自分のやりたい仕事ですぐに移住するのは難しい。

SOFTLANDING

地方で生計を立てる仕事創りの挑戦期間  
として有用なのが「地域おこし協力隊」





地域おこし協力隊とは

022

02

地域おこし協力隊とは

# 地域おこし協力隊とは

都市地域から、過疎地域等の条件不利地域に移り住み

地域ブランドの開発

農林水産業への従事

地場産品の販売やPR

住民の生活支援

etc...

「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取り組み

出典：地域おこし協力隊の概とは | 総務省

[https://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/jichi\\_gyousei/c-gyousei/02gyosei08\\_03000066.html](https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/c-gyousei/02gyosei08_03000066.html)

# 古民家のリノベーション



BEFORE



AFTER



# 古民家のリノベーション

## プロジェクト マネジメント

リノベーションの予算計画や  
協力者の交通整理・課題管理  
などのマネジメント

## リノベーション 作業

古民家の残置物の撤去・解体  
職人さんに教わりながらの  
リノベーション作業

## 施設管理 利用促進

拠点の利用を促進するための  
イベント企画・運営  
地域の集会拠点としての管理

## 働き方でみる地域おこし協力隊

洲本市は委託型



### 自治体雇用型

自治体職員として雇用され、公務員として活動に参画する



### 法人雇用型

NPO法人や地方公共団体等により雇用され、業務に従事する



### 業務委託型

個人事業主として自治体と業務委託を締結し、活動を実施する

雇用形態やミッションの他、自治体の運用方法により大きく働き方が変わるので、自治体選びも肝心

一般社団法人移住・交流推進機構 JOINのHP

雇用形態はこのような感じで分かります↓

とある市町村の募集



## 雇用形態・期間

雇用形態：会計年度任用職員

雇用期間：採用の日（令和6年7月1日以降）から令和7年3月31日まで

※1年度単位で更新可能、最長3年まで

※採用の日は、合格者と市が協議のうえ決定します。

※採用の日から1か月間は条件付採用の期間とし、その間職務を良好な成績で遂行した場合に正式採用となります。

※令和6年度以降の雇用・更新の正式決定は、市の各年度予算成立後となります。

## 給与・賃金等

報酬として月額 23万3,333円。

その他、通勤手当相当分を費用弁償として支給

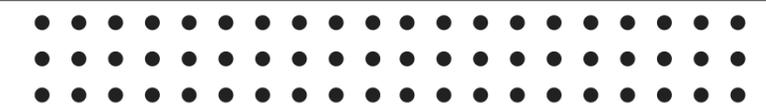
※賞与等の支給はありません（令和5年12月25日時点）。

## 自治体によって雇用形態や隊員の待遇は全然違う

雇用保険や就業時間の長さ、報酬、副業の可否など、確認したい項目はいろいろ

# 02

## 働き方でみる地域おこし協力隊



とある1日のスケジュール *普通めの*

04:00	06:30	08:40	12:00	13:00	18:00	20:00	21:00	
起床	副業	準備	事務作業 & 打合せ	昼食	現場作業	夕食	風呂	寝かしつけ & 就寝

### 起床～朝活

子どもたちが起きてくるまでの時間に個人事業のお仕事。

### 地域おこし協力隊連絡会

活動経費の申請書作成などの事務作業を終え、2ヵ月に1回隊員同士が情報共有を行う連絡会に参加。

### 古民家DIY作業

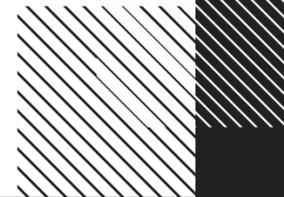
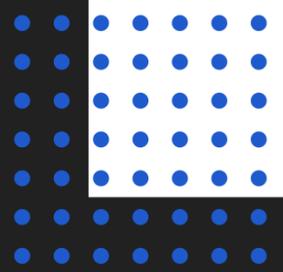
活動エリアの集落にある古民家で作業。大工さんの監修を受けながらDIYを進める。連携する島外の大学生と協働することも。

### 移動は市役所からの支給車両

地方の移動には車が必須。普段は活動車両として、市役所からのリース車両をお借りして移動しています。



地域おこし協力隊同士は交流もあり、協働した活動実績もある洲本市  
地域おこし協力隊を通じて暮らしの人脈づくりもできる



## 働き方でみる地域おこし協力隊



こんな日もある  
とある1日のスケジュール

07:30	08:30		12:00		17:00		19:00	20:30		24:00		03:00
起床	準備	子、発熱 小児科へ	昼食	子、発熱 につき子守&昼寝	食事	風呂	オンライン 会議	報告書作成	副業	就寝		

## 起床～

島の冬は寒い  
子どももすぐ  
風邪をひく

## 子連れ移住は医療も要確認

地方は医療環境の情報が少ない  
(評判や口コミが少ない)  
地元民から聞いて住む場所選びも◎

## 子連れ移住の苦難

保育園の入園が大変。  
移住時期と入園時期を  
見計らって。

## 域学連携

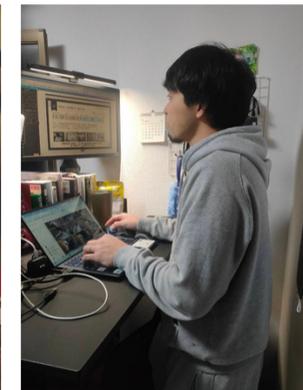
島外の大学生との  
活動も。最低限の  
ITスキルが必要。

## 活動報告/補助金資料

市民向け発表会の資料作成。  
事業に使用する補助金申請書  
の作成。

## 納期前

卒隊後の生業作り。  
納期前は原稿執筆に  
追われることも。



業務委託型の地域おこし協力隊は勤務時間帯の制限がないため  
個人事業主として、**自由度が高い働き方**ができる

## 働き方でみる地域おこし協力隊

こんな雰囲気  
協力隊3年間のスケジュール



地域おこし協力隊の **任期は最大3年**  
任期終了後は、個人の方で自活していく必要がある

## 自治体職員



- 協力隊担当者
- 担当者上長
- 他の協力隊員

## 活動先関係者



- 所属団体担当者
- 取引先担当者
- 活動の協力者

## 地元住民



- 人脈キーパーソン
- くせありキーパーソン
- 近所の住人(町内会)

## ゆるいつながり民



- 移住者仲間
- 趣味仲間
- 飲み仲間

地域おこし協力隊は自治体職員、地域のキーパーソンの紹介を受けやすく  
普通に移住するよりも **関わる人脈の母数が多い** 印象



# 地域おこし協力隊を活用した 移住のメリット・デメリット

## 地域おこし協力隊を活用した移住のメリット



### 人脈と信頼

自治体職員や地域のキーパーソン、  
住人の方の信頼を集めやすい



### 応援されやすい

地域のニーズとやりたいことが重な  
ると応援されやすい立場



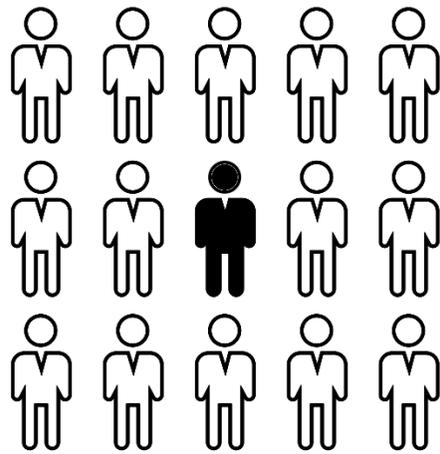
### 経済的安全性

当面の生活を支える固定的な報酬が  
あることで活動にコミットできる。

地方で生計を立てる仕事創りの挑戦期間  
として「地域おこし協力隊」は有用



## 地域おこし協力隊を活用した移住のデメリット



### 目立ちやすい

よくも悪くも行政・地域住民から目立ちやすく、見られている感覚があり、ストレスを感じる可能性あり



### 地域のニーズに縛られる

地域のニーズと自分のやりたいことが異なる場合、活動のモチベーションが保てない可能性あり



### 行政のルールに縛られる

地域おこし協力隊の運用はあくまで地方自治体であり、運用はバラバラ。行政のルールが窮屈な可能性あり

**地域おこし協力隊の運用は自治体によって様々  
つまり、細かな運用ルールの認識GAPが生まれやすい**



# 移住者の 地域との関わり方の変化

# 04



### 住む場所で変わる

淡路島のどこに移住するかによっても、地域との関わり方は変わる。移住者が多いコミュニティは入りやすいが地域との関係性が希薄かも。



### 働き方で変わる

移住者の働き方によっては、地域との関わり方が少ない可能性も。地元企業に勤める方でも、地域と企業のつながりが弱いと広がりが無い



### 出会う順番で変わる

住む場所や働く場所など、いろいろな変数で変わる出会う人。移住後の生活がスムーズに行くためには、出会う順番も大事な印象

**移住者自身の関わる姿勢やコミュニケーション力も  
地域との関わり方を大きく変えるので難しい**

## 車で15分圏内

日常的な生活拠点がコンパクト  
(車で15分圏内に生活圏が形成)  
市民広場でのイベントや  
飲みニケーションが生まれやすい





## おすそ分け文化

農家の知り合いを通じて農作業をお手伝いをする機会もあり、おすそ分けをいただくことが増えました。

## 食の満足度UP

季節の生鮮野菜（玉ねぎ、レタス、白菜、さつまいもなど）をはじめ、雑魚や鹿肉などをいただき、満足度が上がりました。



# 04

## 働き方で変わる：生活の時間帯の変化

06:30 起床・朝食

07:40 通勤

09:00 出社 オフィス勤務

12:00 昼食 → サーバールーム作業  
18:30 退社

19:40 帰宅

20:00 夕食 & お風呂

23:30 就寝

### 都内(新宿)勤務

往復2時間の通勤時間や夜寄りの生活時間帯。1日中オフィス環境で日に当たる時間も少ない

06:00 起床・朝食

08:00 保育園へ送迎

08:20 始業 自宅で事務作業

12:00 昼食 → 古民家/山/畑作業  
17:00 終業

17:20 保育園お迎え → 帰宅

18:00 夕食 & お風呂

21:30 寝かしつけ → 就寝

### 淡路島(山/家)仕事

職場が近く在宅勤務の時間も多くなったため通勤時間が減。農業にも携わり天候や日没時間によっても働く時間帯が変化

### 移住者が感じた 情報が多い

移住者が多いことで  
移住者視点の情報が  
集めやすい

自分と属性の似た移住者を  
見つけることができ  
移住後のイメージ湧いた



### 移住者を受け入れる 土壌

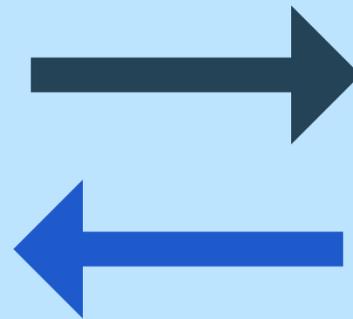
外部人材の流入に抵抗が  
少ない地域は馴染みやすい

地域で活躍する移住者同士  
のネットワークに入りやすく  
人脈づくりがしやすい

## サービスメニュー 化された都会

お金があればできることが  
多いのが都会

あらゆることが  
サービスになっている  
(余白が少ない)



## 余白の多い田舎 生産する喜び

「すぐに使える」  
「すぐに楽しめる」  
サービスになっている  
ものは都会に比べて少ない

一方、自分が作り手側に  
回れる余白は多い

### なければ作る

農家の友人と一緒に  
生産拠点を増設するための  
ハウス作りの様子  
(耕作放棄地を活用)

### 暮らしをDIY

最初は不便な地方暮らしもそこで  
快適に暮らす人や先人の知恵を学び  
自分の暮らしを少しずつDIYして  
いくうちに(住めば)都になる





## よりよい暮らしを実現するための移住



### 送る時間の幸福度

通勤時間が大きく減り  
ワークスタイルも変化。

その結果"可処分時間"が増加。  
送る時間の満足度や幸福度を  
大きく考えるようになった。



### 食育と子育て

「自然に触れながら  
のびのびと子育てがしたい」

生産場所や生産者に近い  
田舎暮らしでは食を通して  
学べる機会も多い。



### 挑戦する場

新しいことに挑戦や小さく事業を  
スタートするなら始めやすい環境。

ライスワーク(食べるための仕事)と  
ライフワーク(自己実現のための仕事)  
を両立しやすい環境が田舎には揃う

Fin.



ご清聴ありがとうございました！





Fin.